



11月うぶやま天文台星空情報 1

夕方、南西の空に 細い月と金星



天空が広がる一覽三山の台(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)である、うぶやまの高原には冬の足音が聞こえています。

晴れていれば肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

11月のうぶやまの星空情報の第1弾は、11月4日～5日に細い月と金星が見える天文現象です。

11月は1日が新月なので、3日の日が三日月になります。日付けと月の呼び名がちょうど合います。4日、5日は(三日月より少し太めの)細い月が、まだ暗くなりきらない夕方の南西の低い空に、金星と一緒に見られます。日の入から30分ほど経った空にはまだ明るさが残っていますが、金星の高度は約15度ほどで、空が暗くなる頃にはかなり低空になってしまいますが、-4等級の金星は明るさの残る空でも探すことができます。日が沈んだらすぐに南西の空を探してください。



細い月と金星